

## 会 議 要 旨

会議名	令和4年度 第2回館山市文化財審議会
開催日	令和5年2月8日(水) 午後1時30分～午後2時40分
開催場所	館山市コミュニティセンター 第1講習室
出席者	文化財審議会委員 6名 教育委員会教育長、教育部長、事務局 3名
公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開 <input type="checkbox"/> 非公開
非公開の場合の理由	
傍聴者	0名
会議概要・結果等	<p>1 開会</p> <p>2 教育長あいさつ</p> <p>3 会長あいさつ</p> <p>4 議題</p> <p>(1)令和4年度事業について</p> <p>① 重要文化財(工芸品)の指定の答申</p> <p>② 赤山地下壕跡公開事業</p> <p>③ 文化財普及・保護事業</p> <p>④ 埋蔵文化財保護事業</p> <p>⑤ 稲村城跡整備事業</p> <p>⑥ 小谷家住宅保存活用支援基金事業</p> <p>(2)令和5年度予算要求の概要について</p> <p>(3)その他</p> <p>5 その他</p> <p>質疑応答・意見等</p> <p>(委員) 赤山地下壕跡には換気の状態はどうか。 (事務局) 換気扇は設置されていないが、地下壕跡は通り抜けとなっている。</p> <p>(委員) オオウナギの状態はどうか。 (事務局) 現在の佐野川の環境は水も清浄であり生育環境に適している。また佐野川の近隣などでオオウナギが確認されたとの情報もある。</p> <p>(委員) 稲村城跡の整備計画を策定するには、具体的にどのように整備していくのかを国や県、地域住民と協議をしながら検討する必要があり、計画の策定には、10年位はかかるであろう。</p> <p>(委員) 稲村城跡は国の史跡だが、整備には国から補助があるのか。 (事務局) 計画が策定された後に整備に対して国からの補助はあるが市の負担もある。</p> <p>(委員) 文化財を修復するための経費は、市が負担するのか。 (事務局) 文化財の修復経費は、所有者の負担となるが、市が一部の経費を補助することはできる。</p> <p>(委員) 小谷家住宅の修繕には、保存活用支援基金からの支出はあるのか。 (事務局) 基金を利用して修繕を行う。</p>

	<p>(委員) 洲宮神社木造天部像の保存修理については今後検討していく必要がある。</p> <p>(委員) 沼のびやくしんには、ヤドリギは観察されなかったが着生木はあった。びやくしんの樹勢は旺盛であるが、着生木を伐採する場合は、びやくしんに影響をあたえないよう慎重に行う必要がある。</p>
--	---